

X
EX ECUTE
EX PLORE
E FFECT
EX CELLENT
EX PERT

2016 - OCTOBER -

10 月

EXE TIMES

Our greatest weakness lies in giving up.
The most certain way to succeed is always to

Try Just One More Time.

もう一度やってみること

EXE のホームページアドレス

<http://www.exe-ac.jp>

検 索

Try Just One More Time. (もう一度やってみよう)

Our greatest weakness lies in giving up.

我々の最大の弱さは諦めることにある。

The most certain way to succeed is always to try just one more time.

最も確実な成功への道は常にもう一度やってみることである。

- トマス・エジソン

夏休みが終わって、ひと月が経とうとしています。当然のことですが、ここからの時期は学習についてはどの学年においても大切な時期と言えます。

中3生は受験まで残り5か月となりました。夏は少し頑張れたものの、二期が始まりペースが...、そんな生徒さんもうらっしゃるようです。

この時期を上手に乗り切り、学力をつけるために必要なことは「学習の質」を高めることです。まだまだ、宿題やワークを手軽に解いて勉強したつもりになっている生徒さんもいます。学習が軌道に乗っていない生徒さんほど、この傾向は強いようです。

肝心なのは「問題をたくさん解いたか」ではなく「できるようになったか」です。簡単に言いますとこれが「学習の質」です。できるようにしたかどうかを考えずに問題を解きまくっている生徒さんは、例年確実に行き詰っています。

教科によりますが、まとめノート・間違い直しノートができていない生徒さんは、残念ながら本人が思っているほど効果が現れていないのは事実です。これは、茨統などの模擬試験の間違い直しノートをチェックしていると、普段から間違い直し・まとめノートをやっている生徒さんとやっていない生徒さんとは、学習の精度・深さがまるで違います。

とにかく形はどうあれ、できないことを少しでもできるようにしない限り、成績は上がりません。受験生である中3の生徒さんには、少なくとも今できないことを諦めてほしくありません。あと一歩と言うところで「ムリだあ...」と諦めてしまうことでそこまでの努力はゼロになります。それをもったいないことだと感じてほしいと思っています。

中1・2生は新人戦という波の中で大わらわのことと思います。中1・2生と言って一括りにできませんが、中3生と同様に毎回の学習内容を諦めないことです。中1生はこの2学期に学力差が大きく開いてきてしまいます。中2生は中学生生活の折り返し地点を迎え、取りこぼしてきた学習内容が今後の学習の足を引っ張ってくる時期です。

中1・2生にとっては、どうしても家庭学習の中心はワークになってしまうのは致し方ないことです。しかし、ワークを解いていれば学力が上がるわけではないですから、しっかりと間違い直しをして、正しい理解・知識を身につけること、そして一つでもできることを増やしていくことです。もちろん、定期テスト対策にもなり一石二鳥です。

何でもそうですが、ひょっとしてもう一度やってみたらできるようになることを諦めてしまっている、そんなことが案外多いのかもしれない。たった1回チャレンジするかしないかで、こうした可能性が開いたり閉じてしまったりしているのです。またそのための努力も、ただするだけではムダに終わり、成功するまでやらないと、もったいないことになりかねません。

そして学力は、こうした一歩一歩の小さな努力の積み重ねからのみ培われるのです。

茨城県進学フェア 2016 のお知らせ

小6生 / 中2・3生

水戸会場：水戸三の丸ホテル

10月16日(日) 11:00 ~ 16:00 (入場無料・入退場自由)

本年度も「茨城県進学フェア 2016」が開かれます。この進学フェアでは進学を希望する学校の先生方と直接、個別で進学相談ができます。毎年 **EXE** では受験生である中3生を中心に原則参加でお願いしております。

実際に進学を希望する学校の先生方と話をすると、人ごとのように考えていた受験を現実のことと受け止め、受験生としての自覚が芽生える生徒さんが毎年多く見受けられます。また、11月には各中学校で私立の受験校が決定される三者面談が控えておりますので、受験校決定の参考にしていただけると思います。

近年では、生徒さんとは別行動で保護者様だけで進学相談なさるケースや、早くから進路決定の情報を求めた中2生の参加など、年々増加しつつある状況です。

- 内容 -

- 学校案内配布 ●各校担当者による面談進学相談会
 - 入試関係資料配布 ●総合進学相談（茨城統一テスト協議会）
 - 進学フェア特別セミナー「29年度入試はこうなる」（NPO 法人茨統教育研究会 理事長 高杉俊介）
- ※「29年度入試はこうなる」につきましては、当 **EXE** の保護者会にご参加いただいている場合、内容が重複します。

※詳しい案内を別途配布しております。当日は **EXE** 講師陣が会場を案内しますので、おおよその来訪時刻を確認させていただいております。

主催/NPO 法人親子進路応援センター
共催/NPO 法人茨統教育研究会
後援/茨城県・茨城県教育委員会・茨城県私学協会
協賛/金原・NPO 法人フレンズインターナショナル
運営協力/総進図書
協力/茨城統一テスト協議会・声の教育社・大学通信・日本私学通信社

保護者面談について

中1・2生 保護者面談

現在、中1・2生の保護者様対象の面談のご案内を配布しております。

現在、学習内容が十分に消化されていない中で、中1生の学習内容は難しくなりだす差がつき始めていますし、中2生はここで中学校の折り返し地点です。現在の学習状況や今後の学習の進め方について、お話できればと考えております。中1・2生の面談は10月中旬まで行っておりますので、まだこれからという場合は、お早めをお願いします。

宜しくお願い致します。

中3生 保護者面談

11月から各中学校で三者面談が実施されます。それに先駆け中3生の保護者様を対象に10月中旬以降、保護者面談を実施いたします。私立の受験校と県立の志望校を決める重要な三者面談となりますので、少しでも多くの情報を提供できご協力できればと考えております。期間が近づきましたら、各校舎よりご案内を配布いたします。

※ 面談の日程設定は、お申し込みの早い順に時間調整をしておりますのでお早めをお願い致します。そうした場合、ご希望の日時に添えない場合もありますのでご容赦ください。

10月 月例テストのお知らせ

●小学生月例テスト：10月第2週

「育伸社テスト」

上記の日程で、授業内に実施いたします。

校舎によって実施日は異なります。

※ 10月11日(火)は
テスト処理日のため、
休講となります。

●中学生月例テスト：10月9日(日)

中3生：「第3回 茨城統一テスト」

中1・2生：「育伸社テスト」

上記の日程で月例テストを実施いたします。

再度、案内を配布いたします。

教科 \ 学年	中1・2生	教科 \ 学年	中3生
集合時間	★ 17:20 ★	集合時間	★ 12:10 ★
志望校記入	17:20～	志望校記入	12:10～
英語 (40分)	17:30～18:10	英語 (50分)	12:20～13:10
国語 (40分)	18:20～19:00	国語 (50分)	13:20～14:10
数学 (40分)	19:10～19:50	数学 (50分)	14:20～15:10
社会 (35分)	20:00～20:35	社会 (50分)	15:20～16:10
理科 (35分)	20:40～21:15	理科 (50分)	16:20～17:10

茨城統一テスト協議会・新教研 共催 <県内二大組織の共催による最大の母集団!!>

2016 第2回「茨城全県模試」

中学 1～3 年生

「茨城全県模試」、本年度第2回目!

2016年 **11月13日** (日)

◆主催／茨城統一テスト協議会・株式会社新教研

● 県内二大組織が共催することで、受験者の母集団がさらに増え、高校受験の目安となる志望校判定のためのさらに正確なデータを提供できるようになりました。

※ 内部塾生の場合「茨城全県模試」を11月の月例テストとして受験していただくことになります。受験料は既に月例テスト代としていただいておりますので、追加の費用はかかりません。申し込み等の手続きも必要ありません。

★もちろん、塾に通っていない生徒さんも受験することができます。

受験料 **4,000 円** (消費税込)

October **10月**以降 予定&休講日

10/2 日(日) 休講日

9 日(日) 月例テスト 茨城統一テスト/育伸テスト

10 日(月) 休講日/体育の日

11 日(火) 休講日 テスト処理日

16 日(日) 休講日/進学フェア in 水戸

23 日(日) 休講日

30 日(日) 休講日

11/3 日(木) 休講日

6 日(日) 休講日

13 日(日) 月例テスト 第2回茨城全県模試

編集後記

人にはバランス感覚と言うか、自己修正機能のようなものが備わっていて、何かを消費していくだけの行動が続くと、不安に駆られるようになっていくのである。逆に何かを得て、蓄積していくことには安心を感じるようになっていく。消費型の行動には破天荒な行動が伴い、やがて自滅的な行動という選択を取らざるを得なくなる傾向が大きいそうである。これは多少本人の資質の問題もあるが、敢えて蓄積型の行動をすることで軌道修正できるようである。

編集 臥居猫